

令和 6 年度 子ども大学にいざ

1. 実施体制

子ども大学にいざ実行委員会	学長	志村 二三夫（十文字学園女子大学学長）
	副学長	
子ども大学にいざ実行委員会	実行委員長	星野 敦子（十文字学園女子大学研究担当副学長、教育人文学部 児童教育学科教授、地域連携推進センター長）
	実行委員 （関係団体）	新座市教育委員会、十文字学園女子大学、新座市ボランティア団体雑 木の会
	問合せ先	syougaku@city.niiza.lg.jp

2. 事業内容

開催回数	1 回	開催期間	令和 6 年 8 月 7 日～令和 6 年 8 月 8 日			
参加者数	3 9 名	内訳	小学 4 年生	1 8 名		
			小学 5 年生	1 4 名		
			小学 6 年生	7 名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	8 月 7 日（水）	
		9：50～11：50	
は て な 学	会場	十文字学園女子大学	
	講義名	ペットボトルロケットを飛ばして遊ぼう！	
	講師	十文字学園女子大学 教育人文学部児童教育学科 塚田 昭一	
			外に出てペットボトルロケットを飛ばしました。
2 日目	開催日時	8 月 8 日（木）	
		9：15～11：15	
ふ る さ と 学 ・ 生 き 方	会場	十文字学園女子大学	
	講義名	埼玉県版SDGsボードゲーム	
	講師	Global Ocean代表 SDGsビジネスマスター SDGs伴走支援コンサルタント SDGsボードゲーム認定上級ファシリテーター 宮内 清登	
			みんなで協力してSDGsを遊びながら学びました。

4. 参加者の声

参加した子供の声（感想）	・ SDGsボードゲームをして、地球の大切さについて、とてもよく分かりました。こうどうにもしていきたいです。 ・〈ペットボトルロケット〉4年生で学習したことを生かして、飛ばせることが心に残りました。〈SDGsボードゲーム〉埼玉県でのSDGs活動を知れたり、自分の目標もたてられたので良かったです。 ・ 1日目、ペットボトルロケットで作って遊ぶだけでなく、理科に関係する科学的な点を学べて、とても楽しく、学びました。2日目、SDGsボードゲームで、自分が今までほとんど分かってたと思いこんでいた。(SDGs)でも、もっと大変なこと、自分が取り組みそうな課題を見つけ、とても良い経験になったと思います。 ・ はじめはのりのりだった。ペットボトルロケットつくるのがとてもたのしかった。 ・ ボードゲームをみんなでやってれんげいしながらできてたのしかったです。
保護者の声（感想）	・ 夏休みらしい企画で本人は楽しめたようです。また、募集が抽選であった事で、普段交流のない学校の生徒さんとも触れ合え、貴重な経験に繋がったと思います。この度は本当にありがとうございました。 ・ 子供が楽しく学べて内容も分かりやすく皆さんがとても親切に接して下さったようで安心できました。次回も是非参加させたいです。 ・ 初めての参加になりました。夏休みの自由研究にもなりますし、新しい環境、1人での参加でより成長を感じることができました。1人でも安心して参加できる環境を整えていただき感謝申し上げます。来年も参加を検討したいです。 ・ 屋外での作業時間が少なく熱中症に配慮されているなと感じました。